

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011.10.17

No.2012
No.12



出席率	会員49名中37名
先々週の出席率	86.67%
ゲスト	ライラ研修生 三条信用金庫 山口広太さん 中山芳郁さん
ヴィジター	三条東RCより 栗山正男君
先週の メークアップ	10/4 三条北RCへ 鈴木園彦君 10/5 三条RCへ 鈴木園彦君 10/6 三条東RCへ 鈴木園彦君 10/11 分水RCへ 佐々木常行君 10/13 加茂RCへ 野島廣一郎君 10/15 米山奨学委員長セミナー（新潟）へ 田中悌司君



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
鈴木 園彦

皆さん、こんにちは。

10月3日の「職場例会」、会員の西巻さんには大変お世話になりありがとうございました。

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、RI理事会が指定した「ロータリー特別月間」、本来ですと9月が「新世代の為の月間」になりますが、ライラ研修開催日程により、本日このプログラムを組ませていただきました。

10月1日、2日のライラ研修にご参加いただいた新世代奉仕委員長の永桶さん、副委員長の馬場輝仁さん、大変ご苦勞様でした。そして、無理なお願いにも拘わりませず、三条信用金庫様よりご参加下さいました山口さん、中山さん、ありがとうございました。後程研修に参加されての感想をご報告いただきますが、よろしくお願い申し上げます。

10月4日（火）三条北RCへ、5日（水）三条RCへ、6日（木）三条東RCへ 8月28日開催のチャリティーイベントへの協力のお礼を兼ね、メークアップして参りました。皆、同じロータリークラブで、同じように例会を進めておられるのですが、所々にそれぞれのクラブの個性が感じられます。

北RC・・・新会員が2名入会され、また、理事会に3名の新会員候補者が推薦されているとのこと、会員増強に力を入れているのがよく分かりました。当日は、米山奨学生、中国武漢出身の新潟大学4年生の李碩（リ・セキ）さんの卓話でした。李さんは弁護士を目指す来春卒業の学生さんで、「日本に来て驚いたこと」と題してお話されました。

三条RC・・・当クラブと同じく「ライラ研修報告」でした。RAC幹事の

四つのテスト

一言行はこれに照らしてからー

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・
バネルジー [インド]

第2560地区ガバナー 石本隆太郎 [新潟]

第4分区AG 山田文雄 [見附]

会長 鈴木園彦

幹事 熊倉高志

S A A 吉井正孝

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

赤坂さんが報告されていまして。内容につきましては略させていただきます。

東RC・・・9月24日の「IM報告会」で、4名の方々が出席しての感想を述べておられました。各クラブの運営や雰囲気を見たり、感じたりして参りましたが、参考になる点は今後の当クラブの運営に大いに反映させてゆきたいと考えております。

10月2日に来日されました2005～06年度の一年交換学生・レナさんのささやかなる「歓迎会」を6日、ロイヤルホテルにて開催いたしました。13名の方々が出席され、皆さんから当時の思い出話や感想をお話いただきましたが、高校生だった少女があれから4年の歳月が経ち、素敵なレディに成長しており、その驚きが話題の中心になっておりました。会は大変賑やかに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎ、最後に記念写真を撮って終了致しました。

翌7日には、せっかくの機会ですので、國定市長に日程を組んでいただき、ドイツから送金されていた義援金をレナさんから直接市長に手渡してもらうことが出来ました。これまでの経緯を説明しますと、國定市長からもレナさんや同行の私達へいろいろと質問があり、その中、レナさんは本当に日本が好きで、日本人が好きだと何度も答えておりました。レナさんも帰国後、ノルデンハムロータリークラブや市役所を訪問する予定とのことです。

日本語を以前よりとても上手に話すようになり、大変お世話になった三条南クラブの皆様によりしくお伝えくださいとのメッセージを預かっております。

その後、長谷川晴生さん宅に贈呈式の記事が掲載された三条新聞と歓迎会等の写真をお届けしましたが、それをお土産に10日に三条を発りました。

なお、来日の折、ノルデンハムロータリークラブのギュンター・ティールマン会長より当クラブ宛の手紙を預かって来られました。丸山征夫会員にお願いし訳していただきました。週報に掲載致しますのでご覧ください。

最後にもう1点ご報告申し上げます。石山荘一会員が8月下旬入院され、9月1日に手術されました。入院中に熊倉幹事と新潟の病院にお見舞いに伺いましたが、手術は成功で経過も良く大変元気な様子でした。その後まもなく退院されましたが、私用で会社を訪ねますと、石山さんがおられ、その折に、もう一度入院し治療を続けることになり、しばらく「休会」させてほしいとの申し出を受けました。理事の皆さんにもこの旨承認をいただきましたことご報告申し上げます。会長挨拶を終わります。



三条南ロータリークラブ会長

2011年9月26日

拝啓

私はギュンター・ティールマンと申します。ドイツのノルデンハムロータリークラブの今年度会長を務めています。レナ・フェルトタングを2006年8月から2007年6月まで日本に送ったロータリークラブです。私たちのクラブを代表してご挨拶申し上げます。

ロータリー青少年交換は私たちの国にとっても貢献したこと、大変嬉しく思っております。そしてまだ継続されております。ノルデンハムロータリークラブは50人以上の若い人達を世界の50か国以上に送り出してきました。

レナは日本への最初の学生でした。彼女は日本文化と日本の国すべてに長年かかりました。ドイツへ帰国した後でも依然としてホストファミリーや彼女の友人たちと連絡を取り合っているようでした。彼女は津波のことで我々以上にとても気を遣い、自発的に友人らに寄付を募り200ユーロを集めました。

この彼女の行動に私たちロータリークラブ会員も喜んで彼女に手助けすることに決めました。300ユーロを集めましたので500ユーロにしてあなたの社会の人々の助けになればと願いながら寄贈いたします。このお金をどう使うかはあなたの方の判断です、レナと一緒に使い方を決めてもらっても結構です。災害に遭われた方々に少しでもお役に立てれば幸いです。どうぞよろしく

ギュンター・ティールマン
ノルデンハム本年度会長



Rotary Club Nordenham
Günter Thielemann - Präsident

Günter Thielemann - Präsident
President of the
Rotary Club Nordenham

President of the
Rotary Club Nordenham

Nordenham, 2011/9/26
Dear Mr. President,
my name is Günter Thielemann, I am the Acting President of the Rotary Club Nordenham in Germany. We are the Rotary Club, which sent Lena Feldtange to Japan from August 2006 to June 2007.
I would like to wish you all the best, on behalf of all members of our Rotary Club.
I am very pleased that the Rotary Youth Exchange has done a great job for the contribution between our countries - and it still does! The Rotary Club Nordenham sent more than 50 young people for exchange in over 50 countries all over the world.
Lena was the first student we sent to Japan. She has been associated with the Japanese culture and the whole country for many years. Since she came back to Germany she still has contact to her host families and her Japanese friends.
Because of that she was even more affected about the Tsunami, than we all were. Lena started spontaneously to ask her friends for donations and collected 200,00 Euro.
This gesture made all the members of our Rotary Club as happy as you can imagine and we decided to help her. We collected an amount of 300,00 Euro, so we could give you 500,00 Euro to help the people in your community!
What you are going to do with this money is your decision, maybe together with Lena.
I hope we could help the people, who were affected by this disaster.

Best Rotarian Regards,

Günter Thielemann

Günter Thielemann
Acting President of the Rotary Club Nordenham

Anschrift: Rotarier 35 - 26884 Nordenham - Tel: 04731 9488-103 - Fax 04731 9488-202222 - günter.thielemann@rotarier-ge.de
35 - 26889 Ralswiek - Tel: 04731 1245 - Mobil 0171 3055220 - günter.thielemann@rotarier-ge.de



熊倉 高志 幹事

○石本ガバナー事務所より 「地区クラブ会長会」 開催のご案内

<日時> 2011 年 10 月 29 日 (土) ~30 日 (日) <会場> 湯田上 わか竹

○三条北RCより 「子育て講演会『石川遼はこんな環境で育った』」 開催のご案内

<日時> 2011 年 11 月 8 日 (火) 17:30 会場 18:30 講演

<会場> ハミングプラザVIP グランドホール

<講師> 石川勝美氏 (プロゴルファー 石川遼選手の父)

※入場無料ですが入場整理券が必要です。ご希望の方は事務局へ

○見附RCより「第 4 分区IM」参加協力お礼 … 9 月 24 日 於：見附市 ホテルつるや 15 名出席

○地区ライラ委員会より 「ライラ研修」 参加協力お礼 … 10 月 1~2 日 於：グリーンピア津南

○三条イーストライオンズクラブより 「認証状伝達式」 出席お礼 … 9 月 20 日 於：VIP 鈴木会長出席

○新潟県共同募金会三条市支会より 「赤い羽根共同募金街頭募金」 報告とお礼

10 月 2 日 於：ホームセンタームサシ、サンゴマート下田店 … 鈴木会長出席、街頭募金額 33,284 円

委員会報告



親睦・プログラム・ニコニコボックス委員会

平松 修之 委員長

◆ 第2回夜例会 ご案内 ◆

と き 2011 年 10 月 31 日 (月) PM 6:30~
ところ ハミングプラザVIP 2 階 「アイリス」

*親睦を深めるべく楽しい企画を用意致します。多数のご参加をお願い申し上げます。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~10 月 17 日 14,000 円
今年度累計 326,000 円~

三 条 東 RC メークアップさせていただきました。
栗 山 君 BOXに協力いたします。

鈴 木 (園) 君 本日はライラ研修報告です。
ご参加下さった三条信用金庫の山口さん、
中山さん報告よろしくお願い致します。

熊 倉 君 ライラ研修 永桶さん、馬場輝仁さんお疲れさまでした。
山口さん、中山さん お忙しい中ありがとうございます。
ございました。よろしくお願い致します。

永 桶 君 本日はライラ研修報告です。研修生の
山口君、中山君よろしくお願い致します。

坂 井 君 秋が深まってきました。尾瀬へ行って来ましたが、紅葉が見頃でした。

渡 邊 (久) 君 昨日、名古屋の友人の見舞いに行って来ました。思ったより元気で安心しました。

佐 藤 (秀) 君 都合により早退します。BOXに協力。

安達君、佐藤(嘉)君、田代君、銅冶君
野島君、馬場(一)君
BOXに協力いたします。

Speech 新世代のための月間



卓 話



第 11 回RYLA研修

10 月 1 日 (土)・2 日 (日) 於：グリーンピア津南
テーマ：「土と親しむ」

8:45 受付

9:45~10:30 開講式

10:30~11:50 研修① 基調講演

11:50~12:10 オリエンテーション

12:10~13:00 昼食

13:00~14:00 研修② 自己紹介

14:00~17:30 研修③ 稲刈り、はざかけ実習

18:00~19:30 休憩、入浴

19:30~21:00 懇親会

22:00 消灯

第 1 日 目

6:00 起床 6:30~ ウォーキング

7:30~ 8:50 朝食、休憩

9:00~ 9:30 移動

9:30~10:30 研修④ 座禅と講話

10:30~11:00 移動

11:00~12:00 研修⑤-1 グループディスカッション①

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 研修⑤-2 グループディスカッション②

14:00~15:30 研修⑤-3 プレゼンテーション

15:30~16:00 閉講式 解散

第 2 日 目



初めまして、三条信用金庫東支店の山口広大と申します。この度は、ライラ研修に参加させていただきありがとうございました。特に、三条南ロータリークラブ会長 鈴木罔彦様、同行していただきました新世代奉仕委員長 永桶俊一様、副委員長 馬場輝仁様、この場をお借りしてお礼を申し上げます。これより研修会参加のご報告をさせていただきます。

今回の研修は「土と親しむ」のテーマを基に津南町のグリーンピア津南にて行われました。天気はあいにくの雨でしたので、ライラ研修のメインである稲刈りが行われるかどうか不安なまま会場に到着しました。開講式が行われ、多くの方がこの研修に参加・運営に携わっていることに驚き、新潟県全体での取り組みであると感じました。初めに農政ジャーナリストの佐藤準二

さんの講習で、現在の農業問題について詳しく説明していただきました。特に私は、TPP 問題についての説明が非常に勉強となりました。この問題は日本の今後の農業に大きな影響を与えるものだと思いますので、TPP 問題の決着に注目していきたいです。

講習後グループ毎での昼食の際、初対面の気まずさは多少ありましたが、段々と打ち解けていき良い雰囲気です。過ごすことができました。

午後からは、グループ内での自己紹介が行われました。スタッフの方々が質問をし、研修生が順番に答えていくものでした。メンバーの職業・現在の夢・考え方など非常に勉強となることが多くありました。その後、直前まで降り続いていた雨も奇跡的に止んだことにより、稲刈りが行われました。稲刈りでは、まず農家の方に鎌を使って稲を刈る方法と刈った稲を藁で縛る方法を教えてもらいました。私は、稲刈り体験は初めてでしたが、ご指導のおかげで上手に刈ることができました。しかし、稲を縛る方は、なかなかコツを掴むことができず苦労しました。縛った稲を干す「はざかけ」という作業も行ったのですが、私たちのグループは稲を干す場所であるパイプが壊れてしまい、初めから「はざかけ」をし直すアクシデントに見舞われました。稲刈り・稲を縛る・はざかけをグループ全員で協力し行ったことで無事に「稲刈り」を終えることができました。ホテルに戻り、温泉で疲れをとった後、懇親会で楽しく過ごすことができました。

翌日は、朝早くに起きてみんなでウィーキングをしました。気温が5℃ということもあり非常に寒かったのですが、自然に囲まれた中を歩くのは気持ちよかったです。午前中は近くの龍源寺で座禅を行いました。脚の組み方から寺内の歩き方まで作法があり勉強となりました。座禅は小学校の時に一度した以来でしたので大変懐かしかったです。時間が経ってくるにつれ足が痺れて苦痛がありましたが、終わってみると非常にすがすがしい気持ちになりました。その後ホテルに戻り、今回の研修テーマである「土に親しむ」についてのグループディスカッションを行いました。私たちのグループではこれからの農業はどうあるべきであるかを考えました。その結果、農業に興味を持ち、農業に対する教育が必要だと感じました。私たちのグループは、もっと農業を理解していくことの重大性を大きなテーマとして、ロータリアン・他のグループの前で発表を行いました。全8組で発表は行われ、ロータリアンの方々の投票により上位3グループが決定するというものでした。私たちのグループは上位3グループの中に入ることができませんでしたが、後にロータリアンの方々から聞いた話では4位でしたので、残念でした。

以上2日間の研修は非常に新しい発見が多く勉強になりました。グループ全員が初対面のこともあり、初めは緊張もありましたが、時間が経つにつれ雰囲気はどんどん良くなってきました。職種や年齢の違う方の考え方を学び、自分自身が非常に成長できたと思います。研修で知り合った人たちとの縁を大切に、本研修で学んだことを仕事等に活かしていきたいです。

第11回ライラ研修に参加して

三条信用金庫 中山 芳郁さん

つい先日までの猛暑が嘘のように、朝晩の涼しさと黄金色に実った稲穂がすっかり秋を感じさせる津南町で、ライラ研修の開催にあたり新潟県内各ロータリークラブから約80名もの若人が集まりました。中には学生ながら、学びの重要な機会として訪れたという参加者も見られ、幅広い業種、職種の方々と交流できたことは、私にとっては非常に刺激を受ける結果となりました。この研修に参加させていただくにあたりましては、会長の鈴木罔彦様をはじめ、三条南ロータリークラブの皆さまには多大なご支援をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。そして、お忙しい中ご引率下さいました新世代奉仕委員長の永桶俊一様、副委員長の馬場輝仁様には改めてこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

さて、今回の研修テーマが「土と親しむ」ということで、津南の自然豊かな地を存分に活かした研修プログラムが組まれ、大変有意義な2日間を過ごしてまいりました。

開講式後、まず行われました基調講演では、農政ジャーナリストの佐藤準二さんを迎え、「日本の食と農を考える」という演題で、お話を伺いました。先生は、人々との食生活と土が切っても切り離せない関係であること、しかし現在の日本はその関係が複雑な問題によって脅かされているということを強くおっしゃっていました。その理由としては、食料自給率の低下、それに伴う輸入食品の増加、大震災に端を発した原発事故による土壌汚染の拡大等を挙げられました。国民の食への関心は「安心安全」に大きく傾いているにもかかわらず、依存し続ける海外か



らの輸入は矛盾としか言いようがない現実でもあります。一方で農業人口の高齢化と減少によって、安定的な供給がままならないことも現実であることが明らかとなりました。さらに、信頼度の高かった国内産も原発事故の影響で不安が広がってきています。このような中、風評被害により本来であれば安全であるはずの食品も、消費者が正しい知識と認識をもたないことによって、産地を見ただけで購入を控えるという事態も生じています。震災後、おそらく誰もが目にしたはずの、野菜や搾乳を生産者自ら廃棄する映像。日本の食文化の惨事とも言えるこのような現状は、確かな情報を提供する側と、それを正確に判断し消費する側との信頼関係を構築していくことによって乗り越えていかなければならないと感じました。

「身土不二」 私は初めてこの言葉を耳にして、ようやく人々の食生活と土の関係の意味を理解することができました。食べることが人間にとって生きる力となることを踏まえれば、それは食生活にとどまらず、生活そのものであって、先生がおっしゃっていた‘土は命の源’であることに他ならないと思いました。自分が暮らす環境の土で育ったものを食べるということは、本来ならばそれだけで安心安全が約束されていると言えるのかもしれませんが。これまで、土に注目して生活することはほとんどありませんでしたが、もう一度食に関心をも持つことで、土のありがたみを感じながら生きていきたいと思いました。

今回の研修のメインともいえる稲刈り・はざかけ体験では、お話を聞いた後ということもあり、様々なことを感じながらの初体験となりました。春から刈り取るその日まで、相当な時間と労力を費やして育ててくださったオーナーをはじめ、手際の悪い私にわかりやすく指導して下さった地元の農家の方々に感謝しながら、たくさんの穂が実った稲を一本も無駄にしないよう丁寧に刈り取っていました。また、実習体験前に行ったグループ内での自己紹介ではなかなか打ち解けられなかったメンバーも、一緒に作業することで次第に距離が縮まり、刈り終えた頃には達成感と喜びを共有できるまでになっていました。

私たちがさせていただき過程は、最後のほんの一部でしたが、こうして実際に体験し、農家の方々の苦勞を感じることで、いつも食べているご飯が、一味も二味も変わってくると思います。将来私たちが親になり、子どもに食の楽しさやありがたみを伝えていくうえで、今回の体験は大変貴重なものであったと感じております。

子ども頃を思い出すかのように泥まみれになりながら、無心で稲を刈り、そして収穫の喜びを味わう、これこそ米どころ新潟の地に生きる者の醍醐味と贅沢であると思います。

2日目は近くのお寺で座禅をさせていただいた後、グループ毎の発表に備え、「自給率向上のために」をテーマについてとことん話し合いました。ある意味この研修の集大成として、自分たちが満足のいくものが出来るようにと、真剣に課題について向き合いました。ところが、意見がでるもののなかなかまとまらず、思うように進まないうえに、限られた時間が余計に気持ちを焦らしました。ギリギリで完成した題材も、終わってみれば他グループの完成度の高さに驚かされることになりましたが、これまでの過程はこの研修の収穫となったと思っております。それは、他人事ではない日本の未来について、若い世代で問題を共有し合い、今の私たちに出来ることは何かを真剣に考えることが出来たことです。人口流出と人口減少により若い人材が減り続けている中、愛着をもって今なお地元で暮らす私たちは、たとえ小さくても、力を結集させることで活気溢れる街づくりに責任をもって取り組んでいかなければなりません。現在直面する課題は決して単純ではなく、むしろ乗り越えていくためにはかなりの時間とエネルギーが必要であると思いますが、根気よく向き合っていきたいと思っております。

「土と親しむ」をテーマに行われた今回の研修も、改めて地元の良さを発見するきっかけになったと感じております。次回は糸魚川での開催ということをお待ちしておりますが、その先、ここ三条でも若手育成のためのライラ研修が行われますことを願い、私の感想とさせていただきます。



坪井正康

〔1938（昭和13）年1月2日生〕

○1月2日・この日何の日？

三菱系の企業で日本初のボーナスを支給（1876年）

○1月2日・この日誕生は？

7代目 立川談志〔落語家、元参議院議員〕（1936年）